

産業建設常任委員会活動レポート

開催日：令和5年8月2日(水)

開催場所：1・2号委員会室

建設水道部

1. 建設工事発注状況等

7月24日現在の発注状況のうち、令和4年度から継続費分の広陵中学校長寿命化改修関連4工事と1委託業務は全て発注済みで、工事進捗率は48～65%で推移しています。

令和5年度予算の発注率は、建設工事発注済額18億4千4百万円(73.6%)・委託業務発注済額1億9千2百万円(78.6%)との報告を受けました。

2. 集中豪雨による道路・河川の災害復旧工事について

7月1日の豪雨により川西地区を流下する「普通河川ポンショカンナイ川」の河岸が決壊し民家近くまで崩壊したため、応急対策工事を行う説明と併せて、7月25日の豪雨による「町道西竹47線道路」(北14号付近)の切土法面が崩壊し道路通行が不能となり、早急に土砂の撤去工事を行い交通止め解除を行う報告がありました。

3. 中標津建設業協会との課題整理について

4月25日に開催した懇談会の課題について下記5点を確認し、対応について検討するように要望しました。また関係部局への周知も併せてお願いしました。

- ①業者に修繕等の見積書を依頼し財源不足で実施できない場合の対応について
- ②調査・測量・写真・図面作成等、一連の見積書作成に見積料の支払い
- ③建設技術職員の人材不足に対する就学資金補助等の検討
- ④物価変動による設計変更(スライド条項)の適切な運用
- ⑤建設資材等の搬入遅延に対する工期変更の対応

経 済 部

1. 観光振興について

(1) 令和4年度の観光客入込客数等について

入込総数は20万2千人で(対前年比1.32倍)、うち宿泊者数5万人、日帰り客15万2千人となりました。

また、中標津町の訪日外国人宿泊者数は887人で、対前年比30倍と大幅に増加し、根室管内全体では3千410人で対前年比13倍に増加した報告がありました。

※委員からは、調査における観光客とビジネス客の区別をどのように行ったのかが曖昧で調査方法を検討すべきとの意見がありました。

（２）標津岳登山道整備について

コロナ禍で３年間閉鎖が続き、熊笹や倒木の影響で通行困難な状況から、６月４日に予定していた「山開き」は中止しました。

６月２５日に中標津建設業協会の協力と有志ボランティア３０名により、刈り払い機・チェーンソー等により登山道を整備した報告がありました。

※委員からは、熊笹刈りの特殊刈り払い機の使用や、熊対策のハンターが同行していない等、ボランティアの範疇を超えているとの指摘がありました。

２．一般社団法人なかしべつ観光協会との懇談会について

７月３日に開催した懇談会では、観光協会の慢性的な人材不足と、現在の四人体制では活動が十分にできない実情について詳しい説明がありました。

さらに９月から打ち切られる「ふるさと納税事業」は行政側からの事前説明が無く、今後の運営が非常に厳しい状況にある事を過去の決算書等を基に説明を受けました。

行政と情報共有を図るためにも「行政職員の協会への出向」が必要との意見がありました。

７月３日 産業建設常任委員会「中標津観光協会との懇談会」

８月２日 産業建設常任委員会「閉会中の事件・調査」